

第12-56号

2013年3月29日

大規模地震などの不測の事態に備えた対策を進めています。 25,000名分の飲料水、レスキューシートを配備しました

小田急電鉄株式会社(本社:東京都新宿区 社長:山木 利満)では、2013年3月28日(木)、大規模地震等が発生した際の備えとして、帰宅困難となられたお客さまにご提供する飲料水、アルミ製ブランケット(レスキューシート)を、全線で25,000名分配備いたしました。

当社では2012年3月に、大型ターミナルの新宿駅、町田駅にて、1,900名分の飲料水やレスキューシートを配備いたしましたが、今回、新たに数量を追加し、全線で25,000名分の備蓄を行うこととします。全線に災害用備蓄品を配備することによって、小田急線をご利用になる皆さまの安心安全の確保に一層努めてまいります。

なお、小田急では、災害用備蓄品の配備による「帰宅困難者対策」のほか「早期運転再開」「お客さまへの情報提供」「津波対応」「耐震化の推進」「踏切長時間遮断の防止」など、地震災害の発生に備えて課題の解決に向けた取り組みを進めています。

小田急全線への飲料水、レスキューシートの配備に関する詳細は、下記のとおりです。

記

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1. 備蓄開始日 | 2013年3月28日(木) |
| 2. 備蓄数量 | 25,000名分 |
| (品目) | (飲料水 約25,000本、レスキューシート 約54,000枚) |



飲料水とレスキューシート



新宿駅に配備した備蓄品

以上